



Global COE “Network Medicine” 主催セミナー  
薬物送達学分野主催 講演会 2009-7  
第316回東北大学大学院薬学研究科セミナー



# 染色体工学技術の医学・薬学への応用

講師： 押村 光雄 博士

鳥取大学染色体工学研究センター・センター長

同大学院医学系研究科機能再生医科学専攻・教授

日時： 2009年11月5日(木) 16:00-17:30

場所： 東北大学大学院薬学研究科 大会議室 (2階)

押村先生は新規ヒト人工染色体(HAC)に関する研究を行っておられます。HACにはどのようなサイズのDNAも搭載でき、独自に開発されたHACベクターを用いてあらゆる細胞に導入可能であります。本来の発現を行う長大な遺伝子構造全体を発現できるHACベクターは、従来のcDNAを発現させるベクターにはできない遺伝子本来の役割を自然な形で発揮させ、遺伝子発現制御研究や将来の遺伝子/再生医療に貢献できると考えられています。今回は、これまでのHACを用いた応用例と将来の医療応用や医薬品の開発への可能性についてご講演いただくことになりました。多数の方のご来聴を心からお待ちしております。